

地域トレーニングキャンプU-17 2011 の実施要項

1. 目的

国体の U-16 化に伴い若年層での選手発掘、育成機会は増えたが、一方で国体後および U-17 年代の継続強化の機会創出を実施する必要があるため。

【継続強化の意義】

- (1) 遅咲き選手の育成、強化、発掘が可能となる
- (2) U-20W 杯に向けての U-18 代表チーム立ち上げへ連動性が生まれる。(U-18 立ち上げ年にアジア予選が始まる)
- (3) 強豪高や Jクラブに属さない選手達により高いレベル同士のトレーニング、試合機会が提供される。
- (4) 地域・47FA ユースダイレクターが選手選考、強化に関わることにより、地域との連携が強化され、併せて活性化が期待できる。
- (5) 地域独自の育成ヴィジョンにおいての選手発掘、強化体制づくりに寄与できる。

2. 実施内容

- (1) 国体以降の強化を継続し、Jクラブとの試合等レベルの高い環境を選手に与え、選手の発掘・強化を図る。
- (2) 選手選考にあたっては、選手発掘の観点から高体連や町クラブ等でポテンシャルの高い選手の発掘を目的とする。
- (3) 基本的には、9 地域での U-17 の強化を行い、地域ユースダイレクターが統括し、地域トレセンコーチ及び 47FA ユースダイレクター、担当地域指導者と連携を図りながら選手選考・発掘・強化を行う。
- (4) 活動日数その他については、各地域の独自性に任せる。
(トレセンマッチデーを活用するかどうか等、各地域の独自性を検討する)

3. 経費

年間 60 万円支給。精算方法は別途連絡する。